

王滝村 議会だより

平成25年
1月号



(巳年生まれの小学生の皆さん)

議長 年頭のあいさつ ・ 24年度補正予算他	2P ~ 4P
一般質問 ・ 全員協議会について他	5P ~ 7P
スキー場特別委員会 ・ 広域連合議会について.....	8P ~ 9P

No. 118



明けましておめでとうございます

師走の総選挙は自民党の大勝利に終わって、自公による新政権が動き出しました。大いに期待すると言いたいところですが、実際の政党支持率や得票数とあまりにもかけ離れた議席の多さに、国民の目は醒めたままのように思われます。

景気対策や少子高齢化と社会保障の問題、こじれきった外交の問題など、喫緊の山積した課題にどのように立ち向かうのか、明確な答を持った政治家は見当たりません。

民主党政権がおこなってきた様々な施策も、大幅に見直しをされることが予想されますが、そのことがどのように地方自治体に影響してくるのか注視していかなければなりません。

王滝村では、懸案だったスキー場の指定管理者も決まり、ゴンドラの運行も再開されて、新しいシーズンが始まっています。

スキー場を取り巻く厳しい状況に変わりはなく、景気が更に悪くなるという向きもあることから過大な期待はできませんが、新しい試みが功を奏して安定した経営が続けられることを願うものです。

厳しい財政状況が続く中でも、王滝村では今まで手を付けられなかった事業にようやく着手することができるようになってきました。

少しずつでも村が良くなっていき、王滝村に住んでみたいと思われるような、そんな村にしていくために、議会においても村民の皆さんの声を聞きながら努力を続けていかなければなりません。

平成25年が、村に住む全ての人々にとって良い年となることを心から願って新年の挨拶とさせていただきます。

平成二十五年一月吉日
王滝村議会議長 西村 祥夫

一般会計補正予算など8議案を可決 歳入歳出からそれぞれ392万円余を減額

一般質問には立花氏が登壇

12月定例会は12日に開会し、村から歳入歳出をそれぞれ392万8千円減額して、総額を21億3,556万1千円とする本年度一般会計補正予算など、8議案が提出された。

定例会は、それら全てを原案どおり可決し、議員発議の村議会委員会条例の一部改正案と陳情2件を採択して閉会した。

一般質問は1名が行った。

可決された議案は以下の通り。

- 一般会計補正予算（第7号）（専決処分）
- 長野県町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び規約の変更
- 松塩筑木曾老人福祉施設組合の共同処理する事務の変更及び規約の変更
- 木曾広域連合規約の変更
- 王滝村税条例の一部を改正する条例
- 王滝村暴力団排除条例の一部を改正する条例
- 一般会計補正予算（第8号）
- 特別会計国民健康保険診療施設費補正予算（第2号）

一般会計補正予算について

主な内容は以下の通り。

- ・空き家の活用対策として、改修費を予算化していたが、予定以上に予算がかかることがわかり、検討し直すことにしたため、工事費130万円を減額。
- ・観光施設管理費として、高原キャンプ場の人件費を361万8千円減額。

【一般会計補正予算質疑】

問（立花）空き家活用対策事業内装改修工事130万円の減額補正について、精査した結果この額では十分な改修ができないため、減額補正するという説明だったが、今後の見通しはどうか。

答（村長）見込みの甘さは認める。この額を執行するより、再度検討すべきと判断した。検討結果

を来年度予算として提案する。



夏の銀河村キャンプ場

問（立花）観光施設維持管理賃金の361万円余の減額補正は、銀河村キャンプ場の賃金ということだが、どういう理由か。

答（産業課長）4月中旬から10月末まで、常勤的に3名雇用する予定だったが、1名しか応募がなかった。2名分はアルバイトとして交代で雇い、施設管理係の職員が対応して今シーズンを乗り切ったことによる減額である。

問（田中）総務企画費の空き家活用対策事業費について。

今年度当初予算で買収した建物の内装改修工事費130万円を全額削除する内容については前段にあった立花議員との質疑の中で概ね理解したが、重ねて幾つか質してみたい。

村長は今年度当初予算の提案理由として今後の空き家対策と住宅施策のモデル事業として実施したいと述べ、その趣旨は賛同できるものであった。

ただし利活用を期した当該建物は別としても他に所有者が異なる周辺の倉やその他の建物土地の取得、撤去整地の費用も含まれた予算であり、私としてはこれについては大いに疑問を呈してきた。土地の一部が急傾斜地であったり、幹線道路からのアクセスの問題など、村が将来活用できそうもない土地建物の取得撤去費も含まれていたからだ。

今回の予算で改修工事費130万円が全額削除される当該空家も賃貸あるいは売却いずれにしても面積的にも構造的にも一般住宅としては直ぐには需要があるとは考えにくい。また、その後の精査の結果、継続利用するには大屋根の全面葺き替えなどなお相当額の改修費が必要との説明であり、来年度当初に再度予算計上するなら一般住宅ではなく、たとえば村の活性を目的としたNPO法人などの現地拠点などかなり現実味のある特別の活用方策が無ければならないものと思う。この時期に該当予算を全く執行せず、全額を削除する今回の補正について村長の見解を伺う。また来年度当初予算編成に当たって本件については内部で再度見直しするとの説明だったが全面撤去、更地化も選択肢なのか。

答（村長） まず、改修費がかなりかかることが分かり、当初予算見積もりが極めて甘かった点について陳謝したい。元々この建物は歴史のある木曾風の宿屋建築で私としては何とか活用することで数少ない村の歴史遺産を残したいとの思いがあった。ご異論のあった周辺部の土地建物の取得撤去もこの建物を活かすための一連の事業として必要なものだった。これから来年度の予算編成にあたって慎重に部内協議を進めていきたい。やや惜しい想いもあるが撤去も選択肢として排除するものではない。



八幡堂横の空家

問（田中） 仮に撤去と決定すれば、今年度当初には保存活用を前提として所有者と建物の取得費を協議

したと思うがこの辺の経過について改めて問わざるを得ない。撤去は簡単だが、私としては現実的な保全活用の道が見出せないか多面的に検討して欲しいと思う。全国の過疎地で空家対策が急務となっており、王滝村だけの現象ではないが、集落内にある老朽化した不在地主が所有する廃屋の問題もある。村に土地ごと寄付するので建物を解体整理して欲しいとの要望も実際にあると思うが、公平性の問題また、過疎対策の根幹である住宅施策と合わせて村長の見解を伺う。

答（村長） 特に集落中心部にある活用可能の空家対策を進めたいと努力しているが、所有者の同意が中々得られない現状だ。村営住宅のほかに持ち家施策が大事だが昨今の世相の中では村有土地や山林を含めた全国版ニュースになる位の思い切った誘致施策をしなければ家は建たないだろう。廃屋問題には頭を痛めているが、近々に処分あるいは公共利用できる見通しのある土地建物しか買収するつもりはなく、これが公共公平性だと考えている。



公民館祭り（H24.10.27）

問（田中） 教育費の公民館費について長年ご苦労された非常勤の公民館長さんが退任され、先の人事異動で教育委員会に公民館長を兼任する管理職員が増員されたが、これは広い意味の職員の定数管理と理解してもよいのか。また、館長職を役場職員が兼任することについての見解を伺う。

答（村長） 職員の定数管理は村長として第一期目からの私の重要政策課題の一つだが、公民館長は人格、見識、人脈とともに住民からの広い支持がなければ勤まらない職であることはご承知のとおりで、後任選びには慎重を期す。

そういった意味から今後の問題として民間人からの登用が望ましいと考えている。

一般質問「そこが知りたい」

本文は質問者の執筆をもとにしています

村誌編纂事業について他 立花 裕美子

●村誌編纂事業について

問 平成27年度発刊へ向けた具体的な計画（時期と内容）を示してほしい。

答（教育次長） この事業は仕切り直しをし、平成27年度発刊に向け編纂室の体制を整え、取組を始めたところである。現在は6名の村内外有識者に専門委員を委嘱し、具体的な内容を検討している状況。専門委員の会議はこれまで3回開催し、委員内で担当を決め、項目立て等の検討をしたり資料収集を行っている。現在の過疎地域自立計画の最終年度である27年度発刊を目標としているが、明確な時期、内容、体裁等は発表できる段階まで来ていない。専門委員の会議の中では、村民のために村民が読みたくなる、村民が知りたい、調べたい内容、村民が読めるものとして、村の姿＝自然、村の歩み＝暮らしの歴史、村の生活といった3部の構成にしたかどうかという意見までは出ている。今後、内容を詰めて具体的に示していけるようにしたいと思っている。



診療所横 村誌編纂室

問 先に回状を通じて実施された薬についてのアンケートについては、回収率や記載内容が充実していたと聞いている。しかし、アンケート下部の、後日聞き取り調査するために記入を促した氏名等の項目への記載が少なかったようだ。これは、村民への協力依頼の手法がうまくいかなかったから

ではないか。また、12月5日に開催された御嶽山学習講座の際、執筆者となられる講師の方が、受講者に「これまでの暮らし、今の暮らしを書き留めておいて欲しい」と呼びかけられた。まず、村が村誌編纂に取り組むという姿勢を示すことが大事である。そしてその後、村民がどのように協力していけばいいのかを示してお願いすべきと思うがいかがか。

答（教育次長） おっしゃるとおりである。まず第一弾として、先般アンケートを実施したが、まだ周知に及んでいない。今後編纂室だより等で周知を図っていきたい。

問 予算について伺いたい。今年度編纂事業に290万円余が計上されている。そのうち委員報酬が120万、研究会講師謝礼が16万円だが、現在どれくらい支出されているか。

答（教育次長） 報酬は22万円余、講師謝礼は執行していない。

問 これまで村誌編纂事業は予算計上されながらも体制が整わないということで、補正でカットしてきた経緯がある。27年度発刊のため、計上された予算を使いながら進めていただきたい。また、事業を進めるに当たっての課題があれば伺いたい。

答（教育次長） 予算執行については今年度精一杯努力し、次年度に向けた計画をしっかりと立てていきたい。課題としては、職員・執筆者双方とも体制を再度確認していきたい。現在のところは資料収集が主なので事務的には問題ないが、住民への周知・協力依頼については精一杯やっていきたい。

問 事務取扱いの職員は増員されたが臨時職員は必要ないか。また、編集や執筆に携われる委員や研究者の時間は確保できるのか、懸念している。

24年度は資料収集ということで、理解できたが今後についてはしっかり検討していただきたい。長振の実施計画では、年間400万円ほどがローリングして計上されているが、25年度以降の予算の見通しとしてはこれでいいのか。

答 前回の村誌編纂から50年経過している。今回の事業には、前のものを検証する作業とこの50年を編纂するという二つの作業がある。それに対して、予算をどう配分するかや、現時点での専門分野での調査研究をどう編集していくかということは、まだ計り知れない。過疎地域自立計画の最終年度に発刊予定であるが、主要事業として位置付けているため、それに縛られない形で、今の委員や専門家を交えてしっかりと進めたい。これまで調査研究したものを編集するには莫大なエネルギーが必要。来年度予算立てには、もう少し具体的に示したいが、400万円にこだわるものではない。

まとめ この事業に莫大なエネルギーが必要なのは理解しているが、発刊目標から逆算した時、残り3年という時間に老婆心を抱いたところである。担当・村当局ともに充分認識されているように、人的な体制作り、予算措置含めてしっかりと取り組んでいただきたい。



H23年度建設 单身住宅

●村営住宅について

問 昨年度、小川地区に建設された単身者用住宅の入居者からの意見は把握しているか。

答 この住宅は8戸のうち現在5世帯が居住している。担当課長が把握しているので答弁する。

答（住民課長） 全世帯ではないが、1名から使い勝手について伺っている。

問 私が伺っている点がいくつかある。床がフローリングであるため冷たい。ワンルームの中に台所があるため、料理が制限される。天ぷらなど匂いのあるものが困る。換気扇が高いところにあるため、十分な換気ができない。このあたりについてはいかがか。

答（住民課長） 若干違っている。フローリングが冷たいというのは承知していない。台所が狭いとは聞いていたが換気扇のことも伺っていない。IHの火力が弱いことと、フローリングにカーペットを敷いたときに収納が開けづらいことを伺っている。村ではコンペを行っていく中で、間取り等決定し精一杯のものを建設したと認識している。



单身住宅 内部

問 単身者用住宅は既に入居済であるが、今年度建設中の世帯向け住宅の設計の段階で間取りの検討に当たった方は、村側は何人くらいか。

答 単身用も世帯用も同じだが、村長、教育長、各課長が関わっている。地域性や気象条件も考慮した上で、居住スペース、間取り等8項目について5点満点で評価して決定している。女性の村民は関わっていないが、設計業者の女性社員は関わっている。

まとめ 地域性や気象条件にももう少し配慮があればよかったと思う。8項目のうち、台所やおふろなど水回りを重要視するような採点方法は考えられないか。村側からの選定委員にこれから居住を見込まれる村民が関わる仕組みは考えられないか。今後、新規事業としての村営住宅建設もあり得ると思うので、入居者が快適に過ごすことができる住宅建設に努めていただきたい。

平成24年第8回議会全員協議会報告

12月12日の議会閉会后、村からの要請により議会全員協議会を開きました。

議題は、銀河村キャンプ場の今後についてということで、村によれば、現在村の直営で行っている銀河村のキャンプ場を、平成26年に指定管理へ移行したいとのことです。

25年度にトイレを含めた大規模な改修を実施してから指定管理へ移行させたいとの説明がありました。

このキャンプ場は黒字経営を続けていますが、平成22年からは県の補助金を受けてようやく黒字になっている状態であり、今年度の利益見込みは、わずか8万円弱とのことです。

議員からは、「指定管理者の見込みはあるか」、「スキー場を経営している御嶽リゾートを想定しているのか」などの質問がありました。

村長からは、指定管理者については白紙であるが、スキー場経営会社への移管も当然頭の中にはあるとの答弁がありました。

その他では、12月5日から役場の課長級職員1名がスキー場に出向していることに対して、村の考えを質す質問がありました。

村の説明によれば、運転を再開したゴンドラの技術管理者が不在となったことから、御嶽リゾートからの要請を受けて、ゴンドラを含めた索道全体の指導監督を行うという名目でスキー場に行っているということでした。

期間は概ね1ヵ月以内で、派遣でも出向でもなく、職員の給料についての負担は求めないということでした。



1年ぶりに運行のゴンドラリフト



スキー場オープン（12月1日）

議員からは以下のような意見や質問が出ました。

1. 索道の指導監督であるなら、運転開始前の早い段階で実施すべきであった。

2. 役場職員に責任が及ばないように留意して欲しい。

3. 村のやり方が唐突過ぎる。現在の職についたままスキー場へ行くことに問題は無いのか。

村民に説明ができるように手順を追ってやるべき。

4. 現在の職についたまま他の職務を行うのは、地方公務員法に定める職務専念義務に抵触する恐れがあるのではないか。

期間の長短に関係なく、正式な手続きをおこなうべきである。また、給料を村が負担することは、民間企業への利益供与になりかねない。

村のやり方は慎重さを欠いたものともいえ、管理職が1ヵ月近く不在でも問題がないということであれば、現在の職務は不要ではないかという議論も議会内にはあります。

平成24年第1回スキー場特別委員会報告

スキー場のオープン控え、ゴンドラリフトの整備状況等について、安全確保の観点から議会としても確認をするという目的で委員会を開いた。

平成24年11月28日(木)午後3時からオリオンの2階で行った。

出席者は、胡桃澤委員長、西村議長、下出副議長、立花議員、日本ケーブルの浦野技術者、御嶽リゾートの栗屋総支配人、村から総務課長、以上7名。

●ゴンドラリフトの整備状況についての説明（日本ケーブル浦野技術者）

整備実施項目資料に基づいた説明。

- ・握索機オーバーホール95台中48台実施済（11月中）残り47台は現在整備進行中。12月下旬完成予定。
- ・山麓、山頂場内押送タイヤ、Vベルト点検実施。11月27日点検済み。
- ・索輪交換実施。点検と平行して作業進行中。
- ・支柱点検、グリスアップ実施。一部残し11月30日までに完了。
- ・山麓、山頂走行レール整備実施。場内全線整備点検実施済み。
- ・制御盤、サイリスタ盤電気点検実施。（ゴンドラ以外の全リフトも実施）中部電力が受電の際に立会い整備済み。
- ・搬器扉開閉装置点検調整実施。搬器収納確認中。
- ・無線機整備実施。11月26日。無線機整備と並行。搬器取付けにてチェック中。
- ・放送設備整備実施。カミナリでスピーカーが故障。修繕整備中。

●ゴンドラリフト運行等についての意見交換（40分）

12月1日に向けたリフト運行については、概ね理解確認ができた。シーズン中にも機会を設けて、情報交換が行えるよう図っていききたい。（次回予定2月初め）

午後4時終了

松塩筑木曾老人福祉施設組合議会11月定例会報告

会期 11月9日 1日間

提出議案3件（決算1、人事1、補正予算1）

すべて原案どおり認定、同意、可決した。

1. 平成23年度松塩筑木曾老人福祉施設組合一般会計歳入歳出決算認定

歳入 45億7,319万円（前年比2.7%減）

歳出 45億4,872万円（前年比1.8%減）

実質収支・形式収支 2,446万円余（前年比64.6%減）

主な歳入はサービス収入で、42億7,056万円。歳入総額の93.4%を占める。組合債は、施設の大規模改修事業がなかったため借入れは行わず、皆減となっている。

歳出の85.2%を占める民生費は、組合施設経営及び介護サービス提供のための事業費で、前年比

0.7%の増となった。また、財政調整基金・施設改築基金・職員退職手当基金の合計は21億4,139万円（3.0%・6,301万円増）となっている。

2. 監査委員の選出

山形村議会議長の上條光明氏を選任。任期は平成27年7月24日まで。

3. 平成24年度松塩筑木曾老人福祉施設組合一般会計補正予算（第1号）

4,500万円を追加し、補正後を46億2,600万円とするもの。

歳入の主なものは、平成23年度決算認定による繰越金2,346万円とサービス収入増1,188万円である。

歳出の主なものは、財政調整基金積立金1,224万円、臨時職員賃金3,041万円等となっている。

報告第1号 平成23年度一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出ともに730万円が補正され専決処分されたことが報告された。

本会議後の全員協議会では、委員1名を指名し、3項目について説明を受けた。

1. 給与制度等検討委員会の委員の指名について

南木曾町・坂本満氏を指名。

2. 平成25—27年度実施計画策定について

3. デイサービスセンター大規模改修事業に関する所在市町村負担割合について

4. 組合規約の変更について

木曾広域連合議会報告

第4回定例会は、11月27日に開会。上程された6議案は原案どおり可決承認された。続いて、総務・福祉・経済観光常任委員会の調査結果の報告を受け、定例会終了後全員協議会が開かれた。

【議案内容】

①長野県町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び規約の変更について

※45の団体に新たに平成25年4月から8団体を加える改正。

②木曾広域連合暴力団排除条例の一部改正について

※暴力団員による不当な行為の防止などに関する法律〔平成3年法律第77号〕の改正に伴う改正。

③木曾広域連合火災予防条例の一部の改正について

※燃料電池発電設備の定義に〔固定酸化物型燃料電池〕を新たに加える改正。

※電気自動車用の急速充電設備を対象火気設備などの種類に追加し、設置する際の位置、構造及び管理の基準を新たに定める改正。

※住宅用防災警報器などを設置しないことが出来る場合として、複合型居住施設用自動火災報知設備を設置したときを追加した一部の改正

※炭酸ナトリウム過酸化水素付加物が危険物に追加されることにより、新たに指数数量の5分の1以上指数数量未満の危険物を貯蔵し、又は取り扱うこととなる一定の貯蔵及び取り扱いに係る技術上の基準について、経過措置を講ずることの一部追加改正。

④木曾広域連合消防手数料条例の一部の改正について

※危険物の規定に関する政令改正されたことに伴

う所用の改正。(浮き蓋付特定屋外貯蔵所の審査に係る手数料の規定を設ける改定)

⑤平成24年度木曾広域連合一般会計補正予算について

※補正額796万9千円を追加し29億1221万3千円とする。

【主な内容】

★加入登録手数料及びテレビ、パソコン設定手数料などの件数の増加。

★情報事業に、木曾町黒川の火災復旧と王滝村の獣害による修繕236万9千円と共架電柱の移設工事負担金460万円を追加補正。

⑥平成24年木曾広域連合介護保険特別会計補正予算について

※補正額189万5千円を追加し38億4170万5千円とする。

【主な内容】

★制度改正による介護認定システムの改修費339万5千円の新規補正。

★予備費は、補正額調整により150万円を減額補正。



元旦ウォーキング

請願と陳情

12月定例会で審議された請願・陳情等の採択・不採択状況は下記のとおりです。

●「私立高校に対する大幅公費助成をお願いする陳情書」（採択）

●「安心できる介護保険制度の実現を求める陳情書」（採択）

以上2件の案件を採択し、関係機関へ意見書を提出した。

●議員定数にかかわるアンケートの実施について

議会では、議員定数にかかわるアンケートを12月の内に実施する予定でしたが、衆議院の総選挙が12月に実施されたことから、事務的な作業が間に合わなくなりました。

つきましては、アンケート用紙の配布を2月最初の回状で行うことにいたしました。

当初の予定より大幅に遅れてしまい申し訳ありませんが、ご協力をお願いいたします。



新滝（裏見滝）の結氷

議会日誌

10月

- 28日 第2回おんたけ湖ハーフマラソン
- 30日 飯田国道事務所・中部地方整備局
陳情要望

11月

- 1日 愛知中部水道企業団南部・北部ブロック協議会合同水源地表敬訪問
- 7日 議員定数アンケート実施打合せ会議
- 9日 松塩筑木曾老人福祉施設組合議会定例会（塩尻市）
- 11日 木曾郡公民館大会
- 14日 第56回町村議会議長全国大会（東京都）
- 15日 木曾郡町村議会議長会陳情（東京都）
- 19日 木曾広域連合議会運営委員会
- 〃 木曾広域連合議会総務常任委員会
- 25日 おんたけ2240スキー場安全祈願祭
- 26日 王滝村議会議会運営委員会
- 27日 木曾広域連合議会11月定例会（木曾町）
- 28日 例月出納検査（10月分）
- 〃 スキー場特別委員会

12月

- 1日 おんたけ2240スキー場オープン
- 6日 深層崩壊に関する勉強会（南木曾町）
- 12日 議会12月定例会開会・閉会
- 〃 議会だより編集特別委員会
- 〃 木曾町商工会と行政・議会との懇談会
- 16日 衆議院議員総選挙
- 25日 例月出納検査（11月分）

1月

- 8日 王滝村消防団出初式
- 15日 議会だより118号発行